

令和4年度多文化共生担い手連携促進研修 第2部

# やさしい日本語 グループワーク

(公財) 仙台観光国際協会 (SenTIA)

須藤伸子

# グループワークの目的・内容

- やさしい日本語を使って話してみよう。言葉以外にも注意！
  - やさしい日本語の課題を共有し、解決に向けて話し合おう。
- (1) 自己紹介でウォーミングアップ
  - (2) ロールプレイ「隣人として」
  - (3) ディスカッション「やさしい日本語の活用と普及について」

# やさしい日本語で自己紹介

- 名前
- 暮らしているところ
- 仕事（活動）
- 趣味
- 最後にひとこと

# やさしい日本語のポイント

- ✓ 難しい言葉は使わない
- ✓ 1文は短く
- ✓ 言いたいことはひとつずつ
- ✓ 主語をつける
- ✓ 敬語、謙譲語を使わない
- ✓ 具体的に説明する

- ✓ 大きな声でゆっくり、はっきり
- ✓ 固有名詞はわかりやすく
- ✓ 相手の顔を見て話す
- ✓ 単語と単語の間を区切る
- ✓ 実物を見せる、ジェスチャー
- ✓ 途中で相手が理解しているか確認

# ロールプレイ「隣人として」

- あなたは地域で町内会長をしています。
- その町内会に外国人の家族が引っ越してきました。
- どの国の人なのか、日本語は話せるのか、日本の生活ルールを理解しているのかなど、不安を感じた地域住民から、相談がありました。
- そこで、その外国人に会いに行くことにしました。
- 次のシナリオを「やさしい日本語」に書き換えて、話してみましよう。

(※外国人家族は来日前に短期間日本語を勉強してきました)

# グループディスカッション

やさしい日本語の利点はたくさんありますが、その活用や普及は簡単ではありません。

あなたの職場で、あなたの立場で、やさしい日本語を使う・広めるために難しいと感じていることをポストイットに書き出してみましょ

- 1枚に1つ、簡潔に書く。
- 合図をしたら、他のメンバーに説明しながら、模造紙に貼ってください。
- 同じようなものは、まとめましょう。
- 出された課題について、グループ内で互いにアドバイスしてみましょ
- 外国人協力者の意見も聞いてみましょう。
- 最後に3分間で発表していただきます。